

大坐禅会

12月6日(土)

17:00 ~ 19:00

どなたでも参加できます。
初心者大歓迎・要予約

秋の夜長に読書がゆっくり楽しめる季節となりました。
いつの間にか日々の食事も温かいものが中心となり
煮炊きする台所のおいが嬉しいこの頃です。
そろそろキノコや白菜の入ったお鍋も献立入りでしょうか。



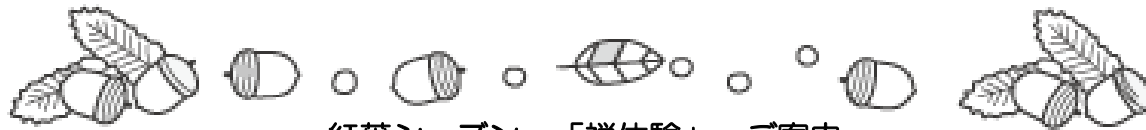
さて、今年で5回目を迎える大坐禅会は
初心者の皆様に坐禅の作法をお伝えし、
休憩を間に入れながら、一緒に坐禅を行うという
年に一度の大智寺主催坐禅会です。

遠い昔、お釈迦様が菩提樹の木の下で坐禅を続けられ、
12月8日にお悟りを開かれたことで、仏教は生まれました。
禅宗では、お釈迦様がお悟りを開かれた時のお姿「坐禅」を修行の中心としています。
大智寺では禅宗寺院として、この12月8日お釈迦様お悟りの日にちなみ
毎年12月第一土曜日の夕方に、初心者向け坐禅会を行っています。

坐禅をやってみたい、
日常から少し離れて静かに自分を振り返ってみたい、
いろいろな方がいらっしやいます。
この秋、ご一緒に静かな時間を過ごしてみませんか。



坐禅の終わりには、あたたかい豆乳のおかゆを
お出しします。お帰りは寒くなりますので、
各自温かい服装でお出かけください。(参加費 無料)



紅葉シーズン 「禅体験」 ご案内

11月24日(祝・月)

お散歩ついでに ちょっとだけ
5分間の坐禅体験

筆ペンで気軽に 十句観音経
5分でできる写経体験

当日は 13:00~16:00 の間、副住職が本堂にてお待ちしております。
紅葉を楽しみながら、お好きな時間に手ぶらでお越しください。

11月22日(土) 13:00~16:00

モミジ狩りの皆様へ、本堂にて若おくりより
抹茶・和菓子の接待をさせていただきます。
気軽に本堂までお参りください。



大智寺だより

平成26年 霜月
Vol.57

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

10月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

秋の行楽日和に 研修会



気持ち良いお天気が続く秋の到来とともに、
たくさんの方々が研修旅行を組んで大智寺にいらっしやっています。

10月17日には岐阜市男女協同参画文化課の企画「岐阜文化再発見 民話の地を訪ねて」の皆様
10月28日には岐阜市歴史博物館の研修旅行の皆様がいらっしやり、
今月は、11月11日に「あすなろ会」の皆様、11月27日に「山県市まなびすと」の皆様が
大智寺のことを学びに来てくださいます。
また三輪北小学校からも、10月3日には6年生のお友達が歴史の勉強をしにいらっしやり、
10月17日には1・2年生のお友達が「秋みつけ」のため遊びにきてくださいました。

小さなお子様から大人の方まで、お寺ならではの静かなひとときをお過ごしただければと思いつつ
皆様をお迎えしております。

冬の托鉢のお願い



今年もまた三輪・藍川校下「報聖会（ほうしょうかい）」の托鉢の時期となりました。
「報聖会」とは、宗派を超えて一緒に協力しあう三輪・藍川のお寺の集いです。
お近くの「三輪釈迦の真長寺様」や「かさ神の延算寺様」など、10ヶ寺程と一緒に活
動をしており、今回も12月3・4・5日の3日間 三輪藍川周辺の托鉢を一緒に行い
ます。北野・西山・出屋敷・門屋は12月5日です。どうぞよろしくお願ひします。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑦



「法要の日のしつらえ」

法要のために、仏間を準備しようとしたら
床の間の掛け軸のことや、お座布団のこと、いろいろ不安が出てきます。
準備するのはその家の奥さんであることが多いものの、なかなか人にも聞けません。

特にお寺に多くお問い合わせいただくのが、床の間の掛け軸のことです。
法要やお盆の時には、十三仏の掛け軸や観音霊場御朱印入りのお軸、
また般若心経の写経文などが望ましいでしょう。
十三仏とは、不動明王・釈迦如来・文殊菩薩・普賢菩薩・地藏菩薩・弥勒菩薩・薬師如来
観世音菩薩・勢至菩薩・阿弥陀如来・阿閼如来・大日如来・虚空蔵菩薩です。
その中でも臨済宗では、釈迦如来や観世音菩薩の軸が一般的です。
また、祖師語録や経文の一節が書かれた軸なども好ましいでしょう。

さて、押し入れを探していたら、紫のお座布団と緋のお座布団が出てきました。
どちらも和尚様用の少し大きめなお座布団ですが、どう使い分けるのでしょうか。

まず、緋のお座布団は、お仏壇の正面「正の座」に敷きます。
お寺の本堂でも、もちろん正面には緋のお座布団が置いてあります。
そして、紫のお座布団は法要が始まるまで和尚様が座る「控えの座」に敷きます。
この「控えの座」にてお茶をいただいたり、皆さんとお話したりします。
お座布団には、必ず正面があります。
四方向を確認し、縫い目のない輪の方が座る人の膝へくるように敷きます。

日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

⑦

さんどくごよく じょうおこ せっしょうちゅうとうじゃいんよく
「三毒五欲の情 起り 殺生偷盗邪淫欲」

さて、人間には「仏心」と「凡夫」両方の心が誰にでもあります、
この2つの心は車の両輪と同じで、バランスを崩すとまっすぐ走れなくなってしまいます。
「凡夫」の声だけに身をゆだねていると、むくむくと「私のモノ」という執着心が湧いてきます。
こうなるとバランスは崩れ、どうなるのかというのが今回の一節です。

名誉や財宝、美貌や食べ物を「私のモノにしたい」とむさぼり始め
私のモノにならないことがわかると、いかり
私のモノと他人のモノと比べては、ぐちを言う
このむさぼり、いかり、ぐちを合わせて「三毒」と言います。
あれもこれも「私のモノ」とラベルを貼るような欲求は、
財欲・食欲・色欲・名聞欲・惰眠欲の「五欲」に集中します。
「私のモノと言えるようなものは、何もないんだよ」という仏心の声もむなしく、
「自分のモノ」に固執するあまり、欲望が大きくなる一方、失うことへの不安も大きくなります。
こうして凡夫は、欲求不満と不安でいっぱい迷宮へと迷い込んでいきます。
そしてついには殺生をしたり、どろぼうをしたり、よこしまな心が生まれてきてしまいます。



今月のひまわり

秋も一段と深まってきました。境内の坂道では
落ち葉と風が、楽しげにおしゃべりしています。
初霜が降り始めると、境内はアツという間に赤と
黄色に埋もれてゆきます。朝夕冷えた指先をなで
つつ、季節の移り変わりを感じます。

秋は植物の植替え時期に当たるためか、園芸屋
にはたくさん植木や苗木が並びます。最近では、
ガーデニングブームもあり、多様な植物を手軽に
植えられるようになりました。

ガーデニングなどというオシャレなことはできま
せんが、最近お寺ではお天気のいい日に山門から
中門への石畳の右手側に苔を貼っています。ここ
はモミジや椿がたくさんあり、今までは土や石が
むき出しでした。副住職が山中を歩いて山ゴケ（シ
ラゴケ）を集めてきて、それを私が地表に貼り
目土をするという地味な作業ですが、雨あがり
に見みると美しいエメラルドグリーンが楽しめます。
京都に世界遺産として知られる西芳寺（通称
苔寺）というお寺がありますが、そこに自生する
苔の大半が、このシラゴケだそうです。

造園業者に頼んで「パツ」と出来上がりという
わけにはいきませんが、これから10年20年後には
また今とはひと味違う景色になるのではと期待し
ています。

山の木々が美しく紅葉するこの季節、また多く
の方々とお会いできることを楽しみにしております。
す。いつの間にか冬のいぶきも間近、どうぞ皆様
お身体大切にお過ごしください。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

白いごはんが どんどん進む 手作りなめたけ

- ① 一袋分のエノキを用意し、根元を切り落とし、3等分に切りそろえる。
- ② エノキはバラバラにして、鍋かフライパンに入れ、
しょう油とみりんをそれぞれ、カレースプーン3～4杯ほど入れて炊く。
- ③ 3分くらい中火でぐつぐつ炊くと、とろみが出てきて出来上がり。



子どもが好きやで、時々作るんやよ、瓶詰も売っとるけど簡単やで作っとる。
とろみ加減とか味の濃い薄いとかは、自分の好みで加減できるしねえ。
エノキは新鮮やと水分が出てくるで、いきなり味付けしとるよ。
あれ、なーんでとろみが出てくるんやろーねー、不思議やよねえ。



～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第二十二回：生活信条 その①

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



日々の生活を送る中で、私達はどのように臨済禅の信仰を實踐していけばいいのかその心のよりどころとして、妙心寺では「生活信条」を全檀信徒に示しています。

3ヶ条ある中の一つ目が、

「一日一度は静かにすわって、^{からだ}身と呼吸と心^{ととの}を調えましょう」

毎日忙しくて、静かにすわっているような時間がない、という声が聞こえてきそうですが、決して長い時間すわる必要はありません。

かの一休禅師も「一寸の線香 一寸の仏」と歌に詠んでいるように、

お線香に火を付けて燃え尽きるまでの短い時間すわると、それだけ仏心に近づきます。

急に自宅ですわろうとすると、いろんな葛藤が生まれてきます。

「あれもこれもやらないといけないのに」「今日は忙しいのに」「こんな時間があればテレビが観たい」でもすわって姿勢をきちんと正し、とにかく形を調べてみます。

はじめは形を調えるだけで頭はいろんなことを考えます。

慣れてきたら、呼吸も深く長く、腹式呼吸に変えていきます。

身体と心は別々なものではなく、不即不離の関係にあります。

身体を調べ、呼吸を調べていくと、自然と心も調います。

その心の状態で、落ち着いて日常に戻っていくと、

毎日の生活がグッと濃厚で有意義なものになっていきます。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

11月23日(日) (内300円は義援金)
(朝8時～9時) 要申込

10月写経会 備忘録

稲刈りもすっかり終わり、朝はひんやりと肌寒さを感じる10月の写経会。今までお経の中の「般若波羅蜜」を詳しく(布施、自戒、忍辱と精進)と分けてお話をしてきましたが、今月は最後の2つ、禅定と般若のお話でした。瞑想を極限まで深めた数学者の逸話は本当にすごいですね。今月は今年初物となる原木育ちのシタケをお分けしました。夜のお鍋にどうぞお使いください(笑)

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む 家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。

必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから

「完全個別永代供養墓」といいます。

詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。